

○ 個別活動報告

- ① 環境保全活動・・・・・・・・・・・・・・1
- ② 保全活動ミーティング・・・・・・・・・・・・5
- ③ 事業・計画ミーティング・・・・・・・・・・・・6
- ④ 信太山里山講座・・・・・・・・・・・・・・7
- ⑤ 緑の観察会・・・・・・・・・・・・・・9
- ⑥ 湿地保全調査 (PP)

① 環境保全活動

○概要

令和3年度7月総会以降の環境保全活動（自主活動含む）は、計4回実施。

実施日、実施場所、参加人数、主な参加者等、活動場所および活動内容については以下の通りである。

実施日	活動名称	参加人数	主な参加者等	活動場所および活動内容
7月19日(月) 10:00~12:00	自主活動	10	・一般会員等 ・NPO信太の森FANクラブ会員 ・NPOいずみの国の自然館クラブ会員	・2か所ある散策路の入口に設置するサインの製作 ・安全で快適に歩ける散策路づくり [参加者 10名程度]
7月20日(火) 10:00~12:00	平日活動	10	・一般会員等 ・NPO信太の森FANクラブ会員 ・NPOいずみの国の自然館クラブ会員	・2か所ある散策路の入口に設置するサインの製作・完成 ・安全で快適に歩ける散策路づくり [参加者 10名程度]
7月22日(木・祝) 10:00~12:00	西側エリア散策路お披露目	35	・一般会員等 ・NPO信太の森FANクラブ会員 ・NPOいずみの国の自然館クラブ会員	・協議会員、市民が公民協働で整備した園路を活用し、散策や自然観察会を行った ・西側エリアの散策路の利用の方向性について意見交換を行った [参加者 35名]
9月5日(日) 10:00~12:00	自主活動	10	・一般会員等 ・NPO信太の森FANクラブ会員 ・NPOいずみの国の自然館クラブ会員	東:園路沿い ・ヒヨドリバナなどの山野草を東側エリアに植えつけ ・園路の草刈 [参加者 10名]
9月21日(火) 10:00~12:00	自主活動	10	・一般会員等 ・NPO信太の森FANクラブ会員 ・NPOいずみの国の自然館クラブ会員	西:草原 令和2年にネザサを刈取った草原で再度刈取りを実施 [参加者 10名]
10月3日(日) 10:00~12:00	第60回環境保全活動	25	・一般会員等 ・NPO信太の森FANクラブ会員 ・NPOいずみの国の自然館クラブ会員	西:草原 令和2年にネザサを刈取った草原で再度刈取りを実施 [参加者 25名]

■令和3年7月19日(日) 10:00~12:00 自主活動

内容

- ・2か所ある散策路の入口に設置するサインの製作
- ・安全で快適に歩ける散策路づくり



■令和3年7月20日(火) 10:00~17:00 自主活動

内容

- ・2か所ある散策路の入口に設置するサインの製作
- ・安全で快適に歩ける散策路づくり



■令和3年9月5日(日) 10:00~12:00 自主活動

内容

- ・ヒヨドリバナなどの山野草を東側エリアに植えつけ
- ・園路の草刈



■令和3年9月21日(火) 10:00~12:00 自主活動

内容

- ・令和2年にネザサを刈取った草原で再度刈取りを実施



■令和3年10月3日(日) 10:00~12:00 第60回環境保全活動

内容

- ・令和2年にネザサを刈取った草原で再度刈取りを実施



※ 西側エリアの散策路のお披露目

開催趣旨

- 協議会員が整備した散策できる園路・広場を実際に利用する。
- 暫定利用の開始をきっかけとし、今後の信太山丘陵里山自然公園西側エリアの利用を考える。

当日進行スケジュール

時刻	内容	担当	
10:00	あいさつ	藤原先生	
10:10	増田会長のメッセージ紹介、当日の流れ	和泉市	
10:15	○散策 ※解説付き	○自由見学時間 ※適宜休憩	【解説】 田丸氏、三輪氏
11:10	意見交換 ○散策路を歩いた感想 (気づいた点：良かった所、危険箇所等) ○今後の西側エリアの利用について	進行 事務局	
11:45	今後の活動について	和泉市	
11:50	終了		



西側エリア散策路平面図



協議会員等とともにお披露目会を準備



藤原先生からのあいさつ



散策路を活用した自然観察会



約 1.5m~2mの園路幅員



木陰で休憩しながら観察を続ける



散策路入口のサイン

② 保全活動ミーティング

令和3年度7月以降の環境保全活動ミーティングは計3回実施。

実施日、実施場所、参加人数、主な参加者等、検討内容については以下の通りである。

実施日	実施場所	参加人数	主な参加者等	検討内容内
8月21日(土) 10:00～12:00	西:草原 東:尾根筋園路	10	・協議会員	※公園実施設計業務の開始に合わせ、臨時開催を行った ・東側エリアのトイレの位置の検討 ・園路の一部ルートの変更 ・整備予定の信太5号線の位置と現況林の位置の確認
9月13日(日) 12:45～14:45	ZOOM会議 和泉市役所	10	・協議会員	・緊急事態宣言下での活動内容やスケジュールの確認
10月3日(日) 12:45～14:45	西側エリア	10	・一般会員等 ・NPO信太の森FANクラブ会員 ・NPOいずみの国の自然館クラブ会員	・草原エリアの草刈を年度内に全て実施できるようスケジュールの見直し ・湿地の目標イメージの確認 ・オンライン里山講座の課題の確認(実践研修)

◆公園実施設計図に示されている建築物や園路等の位置確認(8月21日)



草原エリアにおける園路の位置の確認



現況林における園路の位置の確認

③ 事業・計画ミーティング

令和3年度7月以降の事業・計画ミーティングは、1回実施。

実施日・場所、参加人数（協議会員）、主な参加者等、検討内容については以下の通りである

実施日	実施場所	参加人数	主な参加者等	内容
令和3年 9月16日 (火) 14:00～16:00	和泉市役所 ZOOM 会議	18	・協議会員	令和3年度の公園実施設計(活動拠点施設、トイレ棟)

(1) 主な検討内容

以下の内容を検討した。

1. 活動拠点施設

① 展示に関すること

- ・キッチン周辺の壁面等を利用したパネル展示を常設展示とし、多目的室全体を使って、市民、NPO 等が手作りで行う展示を特別展示の場の確保
- ・常設展示の費用は、施設整備時に計上しておくこと。
- ・展示物の収納スペースの確保

② 土足、上履きに関すること

- ・テラスは常時利用のエリアでもあることから土足利用とする

③ 管理者の常駐に関すること

- ・開園時からすぐに常駐とは考えていない。まずは、土・日・祝日やプログラム開催日、利用申し込みのある日などに施設を開館して管理者を配置する予定。

④ 設備等に関すること

- ・事務スペースはカウンターやパーテーション等の可動できるもので区切るようにする
- ・暖炉などの雰囲気、建物の木組みが見えるなどの演出的なことも考えること

2. トイレ棟

- ・樹林に近い配置となるトイレ場合、特に虫が問題となる。窓や扉に網戸をつけるなどの対策が必要となる。換気をよくすることや明るい雰囲気とすることが重要

④ 信太山里山講座

令和3年度信太山里山講座（案）

令和3年度の里山講座は、公園づくりや信太山里山講座の担い手となる市民などの育成を目的として、以下に示すような動画講座を実施する。

1) 目的

- ①里山講座新規受講生の拡大
- ②コロナ禍への対応
- ③信太山丘陵里山自然公園のPR

2) 動画講座内容

- ・受講生は市のホームページにリンクされている動画（YouTube アドレスを掲載）を視聴することができる。（事前申し込みはなし）
- ・受講後に動画の内容に関する試験問題を提供し、回答してもらえようにする。（試験は、基準を超えた方を履修完了とみなす。）
- ・カリキュラムは必修3講座と選択2講座の合計5講座を受講することで修了を認め、修了証を授与するものとする。

3) 課題：実地体験の機会が無い

※受講生（現在2名応募）は現地での受講も可能とする。また、オンライン配信終了後、信太山丘陵里山自然公園での実践研修の講習会を検討中。

■講座の内容案

区分	講座名	配信時期 (案)	内容	時間
必修	基礎講座	10月下旬 配信	・信太山丘陵里山自然公園のテーマ (講師：藤原先生)	45分
必修	実践学習	10月下旬 配信	・保全活動の心得 (講師：田丸氏)	20～30分程度
選択	保全活動や クラフト 体験の実践	11月下旬 配信	・信太山丘陵の自然素材を使ったクラフト (講師：本藤氏)	20～30分程度
必修	実践学習	12月下旬 配信	・公園づくりの基礎と安全管理を学ぶ (講師：三輪氏)	20～30分程度
選択	活動実践	1月下旬 配信	・保全活動のようす (講師：未定)	20～30分程度
選択	【実践】 保全活動や クラフト 体験の実践	2月下旬 配信	・自然クラフト (講師：ガールスカウト大阪府第28団)	20～30分程度

■動画内容及び構成案（講師と要相談：以下はこれまでのテキスト等を参考）

テーマと講師	動画内容及び構成案
<p>■信太山丘陵里山 自然公園のテーマ</p> <p>藤原先生 大阪府立大学大学院教授</p>	<p>○パワーポイントを使用した動画を作成①②：30分 ③：15分</p> <p>①信太山という場所 ②里山とは ③公園整備のテーマ</p>
<p>■保全活動の心得</p> <p>田丸氏 NPO 信太の森 FAN クラブ</p>	<p>○パワーポイントを使用した動画を作成：①②計10分 ○現地で解説の様子を動画撮影し、現地の植物を紹介：③15分</p> <p>①里山的自然環境 ②二次林の整備と二次草原の復活 ③信太山丘陵市有地の生きものを覚えよう</p>
<p>■信太山丘陵の自然素材を使ったクラフト</p> <p>本藤氏 協議会</p>	<p>○現地で動画撮影し、その様子を紹介：①②5分 ③20分</p> <p>①製作するクラフトの説明 ②現地で素材を集める ③製作工程の紹介（完成まで）</p>
<p>■公園づくりの基礎と安全管理を学ぶ</p> <p>三輪氏 NPO いずみの国自然館クラブ</p>	<p>○パワーポイントを使用した動画を作成：①②計15分 ○現地での草刈りを動画撮影し、紹介：③④10分</p> <p>①作業内容と準備物 ②作業に必要な器具や機械 ③注意点 ④草刈の実践</p>
<p>■保全活動のようす</p> <p>講師：未定</p>	<p>○現地で動画撮影し、その様子を紹介：①②③15分 ○パワーポイントを使用した動画を作成：④15分</p> <p>①ミーティング ②実践（インタビュー） ③気づいたことを意見交換 ④年間を通じて見られる生き物の紹介</p>
<p>■ロープワークと信太山丘陵の自然素材を使ったクラフト</p> <p>ガールスカウト大阪府第28団</p>	<p>○現地で動画撮影し、その様子を紹介：①15分 ②15分</p> <p>①ロープワークの解説 ②製作工程の紹介（完成まで）</p>

詳細はパンフレット参照

⑤緑の観察会

日 時：令和3年9月18日（土）10時～12時

※新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の発令により中止。以下に実施計画案の内容を掲載

令和3年度 緑の自然観察会 実施計画案

（1）目的

信太山丘陵地の湿地や草原には、市街地の近くながら貴重な湿原や草地等の自然環境が残っている。自然観察会を通じて、信太山丘陵について知って頂き、自然公園づくりや保全活動の担い手の増加に繋げることを目的とする。

（2）概要

- 1) 名 称 令和3年度緑の自然観察会
- 2) 日 時 令和3年9月18日（土）10:00 ～ 12:00
- 3) 場 所 信太山丘陵里山自然公園計画地等
- 4) 主 催 和泉市信太山丘陵里山自然公園協議会
- 5) 参加者数 一般参加者：30名、NPOスタッフ：7名+α、(株)ヘッズ、市職員6～8人程度
- 6) 当日スケジュール（案）

時間	内容	担当		
9:00	スタッフ集合、受付準備等	全員		
9:30	受付開始（検温等）、資料配布等	市職員		
10:00	説明、開会の挨拶 班毎に集合（参加者7名以下+講師1名+市1名）	市職員 講師（NPO）		
10:15～	開始、班ごとに移動開始	（各班講師）		
	班リーダー（講師）に従って移動			
	A 先行組～先に南西草原-惣ヶ池周辺を一周			
	B 先行組～先に南西草原-惣ヶ池周辺を一周			
	C 先行組～先に南西草原-惣ヶ池周辺を一周			
	D 先に南西草原で昆虫採集等～エリアを一周			
	E 先に南西草原で昆虫採集等～エリアを一周			
	F 先に南西草原で昆虫採集等～エリアを一周			
	昆虫採取 動植物の解説	湿地植物や昆虫 の解説	園内説明 動植物の解説	※各班講師は暫定
11:30	全体で発見した動植物の発表		講師（NPO）	
	まとめ			
	アンケート配布、回収		市職員	
12:00	終了・解散	市職員		

※参加者の班分けは受付時に市側で行う。当日は班毎に集まれるよう、各班リーダー（講師）が手旗を持ち、集まる場所が分かりやすくする。

7) スタッフ

担当 (敬称略)	解説(講師) : FANクラブ () : 自然館クラブ () タイムキーパー、安全誘導、受付など: 市 記録、アンケート回収、解説パネル展示、その他補助: (株)ヘッズ	
A班	講師: ()	市: ()
B班	講師: ()	市: ()
C班	講師: ()	市: ()
D班	講師: ()	市: ()
E班	講師: ()	市: ()
F班	講師: ()	市: ()
開会・閉会	FANクラブ(田丸)	自然館クラブ(三輪)
記録・補助	市: ()	
本部	市: ()	

【昨年度との変更点】

1. 観察会は西側草原のみで行う。

- ・時間的な問題(エリアが広すぎる)、季節の関係で東側は観察対象が少ない(バッタ程度)、車の通行の危険性等、今年度は西側草原エリアのみで実施する。
- ・コースは全員同じルートで実施。半数が先行してエリアを1周、半数が広場で昆虫採取を実施。後半入れ替える。(別図参照)

2. コロナウイルス感染症対策の導入 (※原則市職員で対応)

- ①少人数のグループで行動(講師、サポートの市職員含め9人以下)
- ②書面での案内時、マスク着用についてアナウンス(+熱中症対策について明記)
- ③受付時に検温を行う。37.5℃以上の方は(非接触型体温計×2本)
- ④参加者全員にフェイスシールド配布(講師含む)
- ⑤虫取り網、虫カゴ等、道具のアルコール消毒の徹底(各班にスプレーを配布)
- ⑥3密、ソーシャルディスタンス(特に講師の説明時)について注意喚起。

3. 仮設トイレの設置

- ・臨時駐車場に設置。

(3) 今後のスケジュール

時期	内容	備考
7月末	チラシ作成、配架依頼	
8月上旬	広報等で募集開始（他、HP、FB、Tw、LINE）	
8月31日	募集〆 → 班分け後、各NPOへ周知	
9月上旬	参加者宛 案内発送	
9月5日	保全活動（現地確認）	西側エリア園路 草刈実施済み
9月9日	現地下見（午前9時30分より）、草刈残り、打合せ	
9月18日	緑の自然観察会	

(4) 緊急時対応等

1) 急病人、ケガ人

- ・救急箱は本部に設置（消毒液、絆創膏、虫刺され程度）
 - ・急病人やケガ人等が出た場合は、速やかに本部の市職員へ報告。
スタッフ→本部→病院等へ連絡
- ※重症・重篤時は、グループスタッフから直接連絡すること。

2) 迷子

- ① 迷子に名前と保護者について確認、保護者がいない or 確認できない場合、
同伴して移動
- ② 保護者がすぐに見つからない場合、本部へ同行。

3) 落とし物

- ・落とし物を見つけた場合は、本部へ持ち込み、拾った時間・場所を記録する。

4) トイレ

- ・仮設トイレを設置しているが、仮設トイレの使用を望まない方や使用できない状況が発生した場合は、惣ヶ池公園のトイレを案内する。（基本的に本部で対応）

(5) 新型コロナウイルス感染症対策※原則としてすべて市職員で実施。

1) 受付時に検温及び手の消毒の実施

- ・ 受付時に参加者の手のアルコール消毒を行う。
- ・ 市職員が2～3名で参加者の検温を実施（非接触型体温計を使用）
- ・ 37.5℃以上の対応の参加者がいた場合、参加を断る（案内文に明記し通知済）

2) フェイスシールドを配布。

- ・ 参加者及びスタッフ全員にフェイスシールドを配布
- ・ 50枚程度準備予定。配布後はそのまま処分頂く（再利用しない）

3) 広報誌等に記載する内容として、持ち物にマスクを記載

- ・ 熱中症対策のため、帽子や水筒等については、例年より強調して記載する。
- ・ 念のため飲料は市でも準備予定

4) 観察会終了時、道具（虫取り網等）の消毒について案内する。

- ・ 消毒用のスプレーをグループ毎に配布し、各班で消毒後本部に返却。

(6) その他

1) アンケートを実施（別紙アンケート案を参照）

何を見て申し込んだか、何を魅力的に思ったか、どういったことをしたいか、公園ができたときに何があると良いか等について参加者から意見聴取。

2) 資料の修正

講師スタッフに確認済。基本的に昨年度から変更なし。

3) 班が分かりやすいよう手旗を準備。

4) 熱中症対策

緊急時用の飲料水等の準備。（原則は講師、参加者とも自身で用意するよう案内）

5) 申込者以外の参加者がいた場合

①少人数（2～3名程度の場合）：どこかの班に同行

②多人数の場合：第7班を作成し、講師が個別対応

※原則として、当日急に来られる方がないよう、各位周知願います。

(7) 準備物リスト

番号	準備物	個数	担当	チェック
1	資料（動植物リスト）	50		
2	資料（アンケート）	50		
3	資料（その他）	50		
4	テーブル	1		
5	拡声器	2～5		
6	集合用プレート（班毎）	4		
7	名簿（受付用）	2		
8	名簿（各班 講師用）	8		
9	飲料水（2L）	2		
10	コップ	50		
11	フェイスシールド	50		
12	体温計（非接触型）	2		
13	虫取り網	20 前後		
14	虫かご	20 前後		
15	救急箱	1		
16	消毒用アルコール（本部 1、各班 1 つずつ）	5		
17	軍手	50		
18	ゴミ袋（大）	5		
19	カメラ	2		
20	看板（駐車場、広場入口）	2～3		
21	鉛筆（アンケート用）	30 前後		
22	手旗（ポール）	6		
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				

令和3年度 緑の自然観察会 観察コース (9月18日時点)

14



注 意 事 項

- 1) 観察の際には、帽子、長袖の服、長ズボン、長靴等動きやすい履物でご参加下さい。
また、熱中症対策として、こまめに水分補給できるよう必ず水筒をご準備下さい。
- 2) 足場が悪いところや滑りやすいところがあります。足元には充分お気をつけ下さい。
また、草むらや茂みでは、蜂や蛇などがいる可能性がありますのでご注意下さい。
また、池や川には近づかないようにして下さい。
- 3) その他、会場のスタッフの指示に従って下さい。
- 4) 会場では「禁煙」にご協力下さい。また、ごみは捨てないで、お持ち帰り下さい。
- 5) 天候や新型コロナウイルス感染症の感染拡大等により、観察会を中止することがあります。予めご了承下さい。
- 6) 新型コロナウイルス感染症の感染対策のため、基本的には常時マスクを着用し、咳エチケットにご協力ください。ただし、熱中症などの健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合は、他人と十分に距離を空けてマスクを外して下さい。
- 7) 「密閉」、「密接」、「密集」の3密を避けて行動して下さい。特に、動植物の観察時や講師から説明があるときに、一箇所に集まりすぎないようにご注意下さい。
- 8) 観察会中、「ソーシャルディスタンス(フィジカルディスタンス)」を守り、常に他人と2メートル以上間隔を空けて行動して下さい。
- 9) 大阪コロナ追跡システムへの登録、新型コロナウイルス接触確認アプリ(略称:COCOA)のインストールをお願い致します
- 10) 観察会の参加にかかるすべての事故等に対して一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承下さい

⑥ 湿地保全調査 (PP)